

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	軟骨細胞特異的 R u n x 2 エンハンサー制御機構の解明と変形性関節症治療薬の開発
研究代表者	小守 壽文 (長崎大学・医歯薬学総合研究科(歯学系)・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>骨芽細胞分化のマスター遺伝子である Runx2 は、骨形成を促進する一方で、軟骨細胞の成熟をも促進し軟骨基質を破壊するため、治療薬の無い変形性関節症の原因遺伝子と考えられている。</p> <p>本研究は、軟骨細胞に特異的な Runx2 のエンハンサーの活性化機構の解明とともに、軟骨細胞での Runx2 発現を特異的に抑制する化合物をスクリーニングし、変形性関節症の治療薬創製に結び付けるものである。加えて、複数のエンハンサーによる Runx2 の協調的発現制御機構の解析を行い、エンハンサーによる遺伝子発現制御機構の理解を深化させる学問的意義も併せて持っている。</p> <p>本研究計画は、応募者のこれまでの Runx2 に関する研究活動に裏付けられており、大きな研究成果と社会的インパクトが期待できる。</p>